

モニタリングレポート(令和6年度)			
施設名	鈴鹿市文化会館		
施設所在地	鈴鹿市飯野寺家町810		
指定管理者	鈴鹿アートライフデザイン 【代表構成員】 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 【構 成 員】 国際ライフパートナー株式会社 【構 成 員】 近鉄ファシリティーズ株式会社		
施設担当課	文化振興課	問合せ先	059-382-7619
モニタリングの実施方針・方法等	施設の管理運営状況については、日報、月次報告書、年次事業報告書、年度事業報告書、定期的な現地調査、指定管理者へのヒアリング等により確認した。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開館日数	209日	209日	0日
開館時間	2,717時間	2,717時間	0時間
利用者数	110,000人	72,273人	▲37,727人
事業参加者数	19,088人	25,689人	6,601人
平均利用者数(/日)	346人	施設稼働率	25.7%

1-2 目標の達成状況の推移

1. 施設稼働率の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
目標値(%)	36	38	40	42	44
実績値(%)	25.7	-	-	-	-
差	▲ 10.3	-	-	-	-

2. 施設利用者数の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
目標値(人)	110,000	110,000	115,000	120,000	125,000	580,000
実績値(人)	72,273	-	-	-	-	-
差	▲ 37,727	-	-	-	-	-

【運営状況に関するコメント】

令和6年度は大規模改修工事により開館が7月からとなったが、以降は安定した運営を維持している。開館日数や開館時間は計画通り確保され、後半には美術展等の受託事業や企画提案事業の開催が利用者の来館増加につながった。一方で年間利用者数は目標に届かなかったため、今後は利用促進策の強化が必要である。

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	106,106,000	106,106,000	0
利用料金	16,800,000	12,763,230	▲ 4,036,770
企画提案事業収入(自主事業を除く)	5,600,000	2,653,375	▲ 2,946,625
その他収入	665,000	514,376	▲ 150,624
収入計	129,171,000	122,036,981	▲ 7,134,019
人件費	59,220,000	59,220,000	0
旅費交通費	100,000	108,361	8,361
通信運搬費	400,000	342,785	▲ 57,215
受信料	83,000	0	▲ 83,000
消耗品費	800,000	1,388,645	588,645
備品費	200,000	1,731,800	1,531,800
印刷製本費	500,000	471,304	▲ 28,696
燃料費	200,000	0	▲ 200,000
光熱水費	17,800,000	13,538,725	▲ 4,261,275
賃借料	800,000	1,017,148	217,148
手数料	200,000	500,453	300,453
保険料	337,000	345,290	8,290
委託料	25,388,000	21,524,740	▲ 3,863,260
本部管理費	100,000	120,150	20,150
企画提案事業	10,600,000	7,103,483	▲ 3,496,517
受託事業	7,500,000	7,732,123	232,123
広告宣伝費	4,750,000	4,804,699	54,699
その他支出	193,000	1,014,748	821,748
支出計	129,171,000	120,964,454	▲ 8,206,546
収支	0	1,072,527	1,072,527

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	1,200,000	2,165,800	965,800
収入計	1,200,000	2,165,800	965,800
自主事業経費	2,500,000	6,571,116	4,071,116
支出計	2,500,000	6,571,116	4,071,116
収支	▲ 1,300,000	▲ 4,405,316	▲ 3,105,316

【事業収支に関するコメント】

令和6年度は指定管理料を中心に安定した収入構成となり、必要な経費を計画的に執行したことで、年度末には収支が適正な水準に収まった。利用料金収入や企画提案事業収入は目標に届かなかったものの、事業運営全体は大きな支障なく進められている。今後は収益性向上と経費の効率化を図り、持続可能な管理運営体制の確立が期待される。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目	評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価		
公民連携に対する理解と姿勢	良	公共施設運営の責任を理解し、市と連携しながら適正な管理を実施している。利用者目線のサービスも評価できる。
施設に対する理解	良	
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	良	
業務の履行確認：可・否の2段階で評価		
施設運営の状況		
管理運営の実施体制	良	管理運営体制は適切に整備されており、人員配置・書類管理・出納管理も問題がない。苦情・トラブル対応も迅速で大きな支障はない。
施設運営の実績	可	
施設の使用に関する業務の状況	良	
苦情・トラブルへの対応	良	
施設の維持管理状況		
保守・点検・各種設備等の管理業務	良	保守・点検や修繕は計画通り実施され、設備の安全性が確保されている。清掃や備品管理も丁寧で、利用者が快適に過ごせる環境が維持されている。全体として維持管理体制は良好である。
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	良	
備品の管理状況	良	
修繕の状況	良	
事業の実施状況		
指定業務内の事業の実施状況	良	指定業務や企画提案事業は計画に沿い適切に実施され、利用者アンケートでも高評価を得ている。自主事業は参加者数が計画を下回ったが、運営は概ね円滑であった。
企画提案事業の実施状況	良	
自主事業の実施状況	良	
サービスの質的評価：良・可・否の3段階で評価		
サービスレベルの評価		
施設サービス全般(接遇、情報提供、周知)	良	接遇や情報提供が丁寧で利用者から高評価を得ており、維持管理や運営業務も計画通り実施されている。全体としてサービスレベルは高く、安心して利用できる施設運営が維持されている。
維持管理業務	良	
運営業務	良	
事業内容の評価		
指定業務内の事業	良	指定業務や企画提案事業は順調に実施され、参加者数やアンケート評価も高い。一方、自主事業は計画的に実施されたものの、集客面に課題が見られるため今後の工夫が期待される。
企画提案事業	良	
自主事業	良	
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価		
指定管理業務に関する収支状況	良	指定管理業務収支において、適切な支出管理が行われており、指定管理者本体の財務も健全である。
指定管理者本体の財務状況	良	
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価		
緊急時の対応評価	良	緊急時においてもマニュアルに基づき適切に対応が行われており、安心して利用できる体制が整っている。

【業務内容に対するコメント】

リニューアル後の管理運営となったが安定しており、サービス提供や施設管理も概ね適切に行われている。運営業務においては利用者の関心を高める取組が見られ、全体として質の高い管理運営が実現されている。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

指定管理者は公共施設の意義を十分理解し、市民目線を重視した運営を徹底している。協定書に基づく管理責任を果たしつつ、地域文化の発展にも積極的に寄与しており、市との連携も円滑である。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

企画提案事業を中心に多様な文化事業を展開し、市民の文化活動への参加意欲を高めた。事業内容は地域ニーズを的確に捉え、独創的な企画で新規利用者の獲得にも寄与している。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

適切な業務遂行のため、運営マニュアルに基づく体制整備、職員研修の実施、定期会議による課題共有・改善を行い、業務規律の徹底と実効性の確保に努めている。

【経済性】

収支管理は総じて適切で、指定管理料を基盤とした運営を継続している。企画提案事業の収入・参加者は計画値を下回ったが、一方で受託事業は美術展を中心に来場者数が計画値を上回った。自主事業は地域還元の観点から一定の成果が見られ、今後も工夫を重ねた展開が期待される。

【業務遂行能力】

リニューアル後の運営で管理体制は適切に構築され、各種事業の実施や施設管理も計画通り進められている。指定管理業務に係る収支は、必要経費を計画的に執行しつつ、年度末に適正な調整が行われた。指定管理者本体も安定した財務状況にあり、突発的な対応にも備えが整うなど、業務遂行能力は総じて高いと評価できる。

【指定管理者に対する総合コメント】

指定管理業務は、貸館、日常的な維持管理（DBM事業以外）、文化事業の3分野において適切に実施されている。貸館は利用者対応が良好で、舞台管理等の維持管理も適切に行われている。文化事業は地域還元の観点で一定の成果があり、今後のさらなる展開が期待される。

5 施設の課題と対策

約2年の休館を経て運営を再開した影響もあり、利用者数および利用料金収入は計画値を下回っている。一方で、指定管理者が実施する受託・企画提案事業は、美術展を中心に参加者数が計画を上回り、地域文化の振興に寄与している。自主事業についても地域還元の視点から一定の効果が認められるが、利用促進と収益改善を両立させるためには、事業内容の更なる工夫や広報の充実が求められる。

6 施設の方針

文化会館は、市民の創造・交流・発表の拠点として、より多様な世代・団体に親しまれる施設であることが求められる。今後は、貸館利用の促進に加え、地域の文化資源を活用した特色ある企画事業の展開を図り、来館者の増加と収益向上を目指すべきである。また、舞台管理等の日常的な維持管理においても、引き続き安全・快適な環境の提供に努める必要がある。